

会報

しんせき

第 85 号

令和2年7月28日

発行責任者

新関コミュニティ協議会
会長 渡辺 和典

笑顔いっぱい 元気いっぱい 夢いっぱい

新関コミュニティ協議会：新潟市秋葉区下新364-1 Tel0250-47-4640

(新関コミュニティ協議会の活動は、新潟市の助成を受けています。)



家族防災会議

6月の第4日曜日は「新関地域の防災の日」でした。しかし、これも新型コロナウイルス感染症防止のため新関コミ協としては「家族の防災会議」のみとしました。コロナウイルスの推移をみて秋に延期をした自治会もあります。

家族防災会議は、例年のように「チェックカード」に沿って日頃の備えや避難方法、心構えや「非常持ち出し品」のチェック、さらに今回、「新型コロナウイルス対策」も加え、家族全員で認識を深めようという機会となりました。

九州地方を襲った豪雨。コロナ渦の中復旧作業が進まず未だに痛々しい爪痕が残っています。もはや「想定外」の文字は死後と化しました。

3本の川が流れる新関地域。水害を想定した災害対策や訓練が一層重要になってきました。

「線状降水帯」と呼ばれる気象用語。このような現象が新潟県に居座つたらと思うと本当に恐ろしくなります。どうしたら命が守れるのかを真剣に考えなければなりません。

新型コロナウイルス感染症の収束を願って

世界中の願い 新聞から発信

新潟日報 2020年(令和2年)7月3日(金曜日)

世界が早く健やかに



児童ら将来の夢結ぶ

秋葉区・新関コミセン

子どもや地域住民の願いを書いた七夕の飾り付けが、新潟市秋葉区の新関コミュニティセンターで行われた。児童らが新関小学校の全校児童59人も参加し、思いを込めて短冊を笹に結んだ。七夕飾りは同センターで7日まで展示されている。

新関コミュニティ協会の主催。例年は七夕に合わせて地域の高年齢者を集めてイベントを開いていたが、今年度は新型コロナウイルスの影響で中止。その分、七夕飾りに力を入れた。短冊の数を30本から50本に増やし、飾りも新たに購入した。

新型コロナウイルスが収まってほしいと書いた小学2年の寺岡昂君(7)は「願いが星に届くように笹のてっぺんに付けた。早く新幹線に乗って東京のいごに会いに行きたい」と話した。

写真：新型コロナウイルスの終息などを願い、短冊を飾り付ける新関小の児童(新潟市秋葉区)

――残念！――

七夕福祉の集い(敬老会)

今年度は中止

七夕福祉の集い(敬老会)は今回の新型コロナウイルス感染症拡大防止のためやむなく中止となりました。

これまでの反省から、今年は座った席から椅子を使ったテーブル席とし、少しでもお年寄りに楽な姿勢で楽しんでいただくよう計画をしております。残念です。

全てを中止するに忍び難く、住民はもとより日本や世界中の人たちの切なる願いである新型コロナウイルスの収束などを新聞から発信しようという思いで今回七夕飾りに重きを置いて実施しました。

短冊づくりは、新関小学校児童・保護者、職員、認定こども園おひさま園児、新関の各自治会、コミセン利用者、しんせき児童クラブ児童などにお願いしました。まさに総動員。みなさんのおかげでたくさん短冊が集まりました。竹(市新・長谷川隆さん提供)は例年以上の本数を用意しました。

私達の願いはきつと届いてくれるものと思います。ご協力をいただいた多くの皆様、ご多用の中ありがとうございました。



「家族防災会議」
6月28日(毎年4日曜日)は新潟地域の「防災の日」です。家族で防災について話し合いましょう。

家庭で「安否確認」「役割分担」「連絡方法」「非常持ち出し品」などを話し合い、もしもの時に備えることが大切です。

地震を想定し、次のチェック項目に沿って話し合ってください。(※必ず避難経路を確認してください)

わが家の非常持ち出し品

新型コロナウイルス感染症が世界に広がっています。この感染症も一種の災害です。家族の安全のために、備えを怠りません。

実践報告会

7月22日



松屋マサエさん・松田正志さんが新関コミ協（新関地区社協）を代表し、「**新関地域のお茶の間**」と「**しんせき児童クラブ**」についてこれまでの実践を発表しました。大変わかりやすい発表で共感を得ました。

この発表会は、3月3日文化会館で行われる予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため残念ながら中止となっていたものです。

しかし、なんとか発表の機会をと秋葉区社会福祉協議会では、区社協福祉推進会議の席上で開催の機会を設定されました。



- 【報告者】
- 金津地区社会福祉協議会 渡邊八重子 様 小林早苗 様
 - 新関地区社会福祉協議会 松田正志 様 松屋マサエ 様
 - 美幸町町内会 内田研一 様 斎藤宗久 様



忠魂碑の周辺を除草 新関地区自治会が輪番で

かつての新関村役場跡の入り口付近に立派な忠魂碑があります。近年遺族会の高齢化が進み忠魂碑周辺の除草作業ができなくなってきたことから、新関地区自治会総会において検討され自治会が自主的に輪番で除草作業を行うことになり今日に至っています。

今年は市新自治会が担当。この度除草作業（除草剤の散布）が行われました。ふるさとを思う活動が地道に行われています。



想像を絶する豪雨が九州地方を襲い甚大な被害が出ています。ウイルス禍の中、ボランティアの制限もあり後始末がままならない状況。心が痛みます。

新型コロナウイルスが再び猛威を振るい始めています（第2波？）。

この新型コロナウイルス感染症という病は、人の心まで汚染させてしまっているようです。誹謗中傷、悪用した詐欺・・・。

素晴らしい日本の文化、日本人の精神文化をこよなく愛し、東日本大震災後、日本に帰化した文学者ドナルド・キーンさん（米国出身）は今、天国でこの窮状をどのように見、どんな言葉を発してくれるでしょうか。「辛抱強い日本人、今が我慢の時だ。幾多の苦難に堪え支え合い助けあってきた日本人、賢く人思いやる暖かい日本人、この心を忘れないでほしい。」「病を憎んで人を恨まず。」とでも。

7月24日は東京オリンピックの開会式の予定でした。白血病からの復帰を目指す競泳の池江璃花子さんが1年後に延期となった東京オリンピックに向け、「1年後の今日、この場所で希望の炎が輝いてほしい」と世界にメッセージを発信しました。

トンネルの先には必ず希望の光が